

◆ 講評

申請団体2

申請団体2は、スケートボードパークの施工実績やノウハウが十分で、健全な経営を保持し、提案すべき内容についてはひとつとおり漏れなく検討されている。今回の提案では管理・責任体制についても十分検討され、メンテナンスや河川増水時の対応を考慮して撤去が可能な置き型のセクションとシェルター等が配置されており、具体的な提案が高く評価できる。

安全性については、セクションエリアをネットで囲うなど、他の公園利用者への安全配慮がされており、増水時の撤去・移動・復旧もよく考えられているが、初心者と中・上級者のエリアに境目が無く、動線が交差する可能性や、エリア内でボードが飛んだ際の安全対策について懸念がある。

品質については、独自開発の表面材を使用し、レールの錆やコンクリートの劣化等についても十分に検討されている。また、設置後の定期的な点検や修繕費用が示され、スチール製セクションの2年間の無償保証や設置後1度の無料メンテナンスがあり、交換等のメンテナンスについても具体的な提案がなされており評価できる。

一方、配置・形状については、滑走エリアの面積が狭いことや、セクションの数が少なく高さも中・上級者にとっては物足りなさを感じる印象を受ける。また、コースが単純で左右一方向へアプローチする配置のため回遊性に欠け、順番待ち等が多数発生することが予想されるデザインとなっていることから、スケートボード関係者等の意見を取り入れ、高さを1メートル以下に限定せず、中・上級者も楽しめてコンテストやイベント等も可能なセクションを配置することを期待する。

申請団体3

申請団体3は、地元に着した施工実績を持つ事業者と世界中に数多くのスケートボードパークの施工事例を有する事業者の共同企業体であり、現状の問題点の把握と分析を的確に行っており、スケートボードとスケートボードパークに強い熱意を感じた。高さ1メートル以内の常設式コンクリートセクションによる提案であり、排水対策が考慮されたデザイン性に優れた魅力的な提案となっている。

配置・形状については、レベルに応じたセクション配置や、一方向の流れとなるように意識された回遊性を備えており、初級エリアと中・上級エリアが利用者によりわかりやすくなっている。また、設計の段階から完成までの間に地元スケートボーダーから意見を吸い上げる手立てを有しており、利用者が真に望む配置・形状・運営が行われることが期待される。

安全性については、初級者と中・上級者が滑走時に交錯しない動線となっており、板が流れた際の流れ止めなどの配慮や、セクション端部の盛り土と芝生による段差対策なども行われており、具体的な提案が評価できる。

賑わいの創出については、中・上級エリアはコンテストやイベントの開催も可能なレベルの提案となっており、スケートボード競技のみならず、タウンミーティングやマナー教室など、地域おこしや住民定着までも意識した今後の運用についても大いに期待できる。

管理やメンテナンスについては将来的に検討されていく感じではあるが、現段階では十分に計画されていないように思われるため、さらなる検討を期待する。